



復興 大学

災害 ボランティア ステーション



事業の目的

本事業は、宮城の創造的復興を担う人材を育成する一環の事業として、学生ボランティアを持続可能な社会資源として高めていくこととし、主に以下の二つの目的に寄与する。

1. 復興への大きな課題として位置づけられるコミュニティ再生支援にかかわる学生ボランティアの育成に貢献すること
2. 震災を契機に現在まで動いてきた大学間連携ボランティアネットワークを礎に、宮城の震災復興にかかわる学生ボランティア活動の取り組みを、県外の地域に共有・伝承すること

事業の内容



大学間連携災害復興ボランティア活動（通年）

年間を通しての県内におけるボランティア活動で、学都仙台コンソーシアム加盟大学学生間の協働ボランティア活動。活動地域は石巻市、岩沼市、気仙沼市、七ヶ浜町、名取市、山元町など。

大学間連携災害復興ボランティア・夏ボラ活動

夏季集中ボランティア・合宿形式の協働ボランティア活動。学都仙台コンソーシアム加盟大学と大学間連携災害ボランティアネットワーク参加大学を対象として活動を行う。活動地域は石巻市、気仙沼市、山元町。

スタディツアー

ボランティア活動に参加するきっかけとして、語り部プログラムや現地の方々の交流を含めたプログラムのスタディツアーを行う。実施地域は石巻市、気仙沼市。

大学間連携災害ボランティアシンポジウム（冬）

学都仙台コンソーシアム加盟大学と大学間連携災害ボランティアネットワーク参加大学を主な参加対象として開催。全国の学生ボランティア活動取組の共有を行う学生間交流プラス、学生ボランティアの意義を高めていくプログラムを行う。

みやぎ招へいプログラム（秋）

様々な地域の大学生を宮城に招へいし、宮城の復興経験を学ぶ機会を提供する。学生ボランティアが交流し、親交を深めて、今後の連携をつくったり、大きな震災を経験した地域の若者が互いを刺激し合い、助け合うことで今後の復興及びまちづくりの担い手を育成したりする機会とする。



夏ボラ(気仙沼)



定期活動(山元町)



定期活動(七ヶ浜町)



ボランティアセンター設置運営訓練



定期活動(仙台市長町)



大学間連携災害ボランティアシンポジウム